

FR CORONA®

—— 練り込みタイプ 防災レーヨン ——

1000℃の炎でも骨格を残す高いバリア性

特長

1

レーヨン繊維に**無機物を練り込み**
特殊な加工で防災化した素材です

特長

2

火災時は、繊維に練り込んだ
無機物が骨格として残るので
炎や熱に対してバリア性があります

特長

3

安全性に考慮し、ノンハロゲン、
ノンリンで防災化。火災時に、
煙や有毒ガスがほとんど発生しません

ダイワボウレーヨン株式会社

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町3丁目6番8号 御堂筋ダイワビル11階
TEL/06-7635-3294(代) FAX/06-7635-3291 E-mail/dr-kanri@daiwaborayon.co.jp

<https://daiwaborayon.co.jp/>



通常は穴が開く高温の炎でも、 練り込まれた無機物が残ри、炎と熱をバリア

防災テストの様子

不織布を
バーナーで
加熱

接炎部はおよそ
1000℃の高温に
なります。



20分間
加熱後の
状態

無機物の骨格が
残るので、**穴が空
きません。**

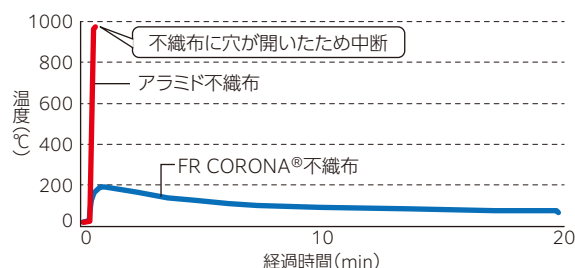


【不織布裏面の温度推移】

アラミド製の不織布で同様の試験を行うと、瞬時に穴が空いてしまいます(グラフ参照)。FR CORONA®の場合、無機物の骨格が残り不織布に穴が空かないので、炎をバリアし、裏面に熱を伝えにくいという特徴があります。

試験方法(自社法): 所定の枠(25cm×15cm)にセットした不織布に対して、不織布表面をバーナーで加熱して不織布表面の状態および不織布裏面にセットした温度計で経時的に温度を測定した。

試験場所: 自社試験室
試験サンプル: 混率 FR CORONA 70%/バインダー繊維 30%
目付 275gsm
厚み 15mm(ハイロフト不織布)



FR CORONA®の代表的な用途

ベッドマットレス用途(CFR1633対応)

アメリカではベッドマットレスの防災化に欠かせない素材として認知されています。

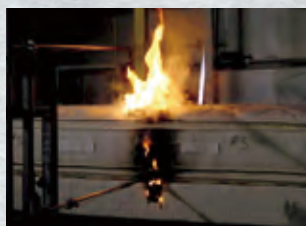
CFR1633 —— マットレスセットの可燃性(オープンフレーム)の基準

アメリカでは、すべてのマットレスセットが商業化される前に満たす必要のある防災性能が定められています。この規制の目的は、マットレスを火元とする火災による死亡事故や怪我を減らすために制定されました。マットレスの燃焼テストでは30分間の燃焼試験を行い、最大発熱速度や総発熱量が基準値を超えてはなりません。

FR CORONA®
不使用の
マットレス



FR CORONA®
で防災化した
マットレス



【取り扱い及び使用上の注意事項】

・性能については、当社原綿100%または混綿でのご使用の際には、改めて確認をお願いいたします。・火傷等身体を保護するものではありません。・使用上の用途・条件・環境をしっかりと把握した上でご使用ください。・40℃以下の屋内(直射日光の当たらない場所)で保管してください。変色する場合があります。・保管場所周辺では、火気及び強酸化剤は使用しないでください。・NOx、SOx等の排気ガスが発生する場所での取扱いはしないでください。変色する場合があります。